

二月

国立能楽堂

February 2018
National Noh Theatre

月間特集 近代絵画と能

平成30年

〔定例公演〕2月7日(水)午後1時開演

狂言 無布施経 野村 万作 (和泉流)

能 頼政 塩津 哲生 (喜多流)

〔普及公演〕2月10日(土)午後1時開演

解説能楽あんない、能を描く人、描かれる能

狂言 棒縛 茂山 宗彦 (天蔵流)

能 花筐 武田 志房 (観世流)

〔定例公演〕2月16日(金)午後6時30分開演

狂言 瘦松 三宅 右近 (和泉流)

能 熊野 金剛 永謹 (金剛流)

〔企画公演〕2月28日(水)午後6時30分開演

◎近代絵画と能―水底の彼方から―

復曲 狂言 浦島 野村又三郎

能 玉井 梅若 玄祥 梅若 紀彰

龍宮城

予約開始 = 1月9日(火)午前10時~

窓口販売開始 = 1月10日(水)

(チケット売場 午前10時~午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター〈午前10時~午後6時〉

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

〔インターネット〕<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)

※詳細は上記ホームページをご覧ください。

●プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/>
e+ (イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj>

定例・普及公演 正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700
学生: 脇正面¥2,200・中正面¥1,900

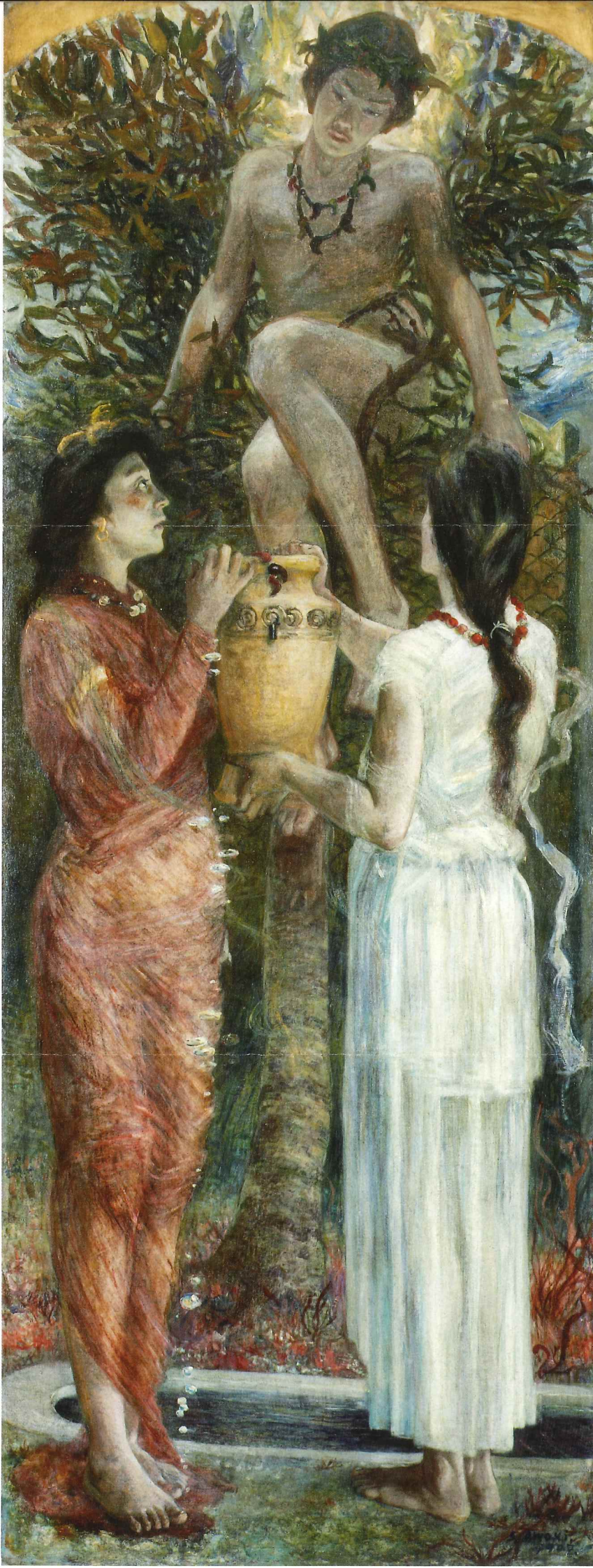
企画公演 正面¥6,300・脇正面¥4,800・中正面¥3,200
学生: 脇正面¥3,400・中正面¥2,200

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。

詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

国立能楽堂

JR(中央・総武線)千駄ヶ谷駅下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口・徒歩5分
東京メトロ(副都心線)北参道駅下車 出口1または2 徒歩7分
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3423-1331(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>



「わたしのいるこの空」青木繁画(石橋財団フリナート美術館蔵)

定例公演 字幕

2月7日(水)午後1時開演

無布施経

シテ/住持 野村万作
アド/施主 深田博治

頼政

シテ/源頼政の霊 塩津哲生
ワキ/旅僧 宝生欣哉
アイ/所の者 石田幸雄

小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 柿原崇志
後見 中村邦生
佐々木多門
佐藤寛泰 狩野了一
友枝真也 粟谷明生
大島輝久 粟谷能夫
塩津圭介 長島茂

第27回能楽若手研究会 東京公演

2月3日(土)午後1時開演

能「観世流」巴 佐久間二郎
能「大藏流」寝音曲 善竹大二郎
能「宝生流」車僧 高橋憲正

正座 3100円
脇正座 2600円/学生 1800円
中正座 2100円/学生 1500円
予約開始 1月9日(火)
窓口販売開始 1月10日(水)

*字幕付(日本語・英語)

普及公演 字幕

2月10日(土)午後1時開演

能を描く人、描かれる能

小林健二

棒縛

シテ/次郎冠者 茂山宗彦
アド/主 茂山七五三
アド/太郎冠者 茂山逸平

花筐

能「観世流」

シテ/照日の前 武田志房
ツレ/侍女 武田文志
子方/継体天皇 清水義久
ワキ/臣下 福王茂十郎
ワキツレ/使者 福王知登
ワキツレ/奥昇 喜多雅人
ワキツレ/奥昇 中村宜成
笛 赤井啓三
小鼓 観世新九郎
大鼓 亀井忠雄
後見 武田宗和

武田崇史 清水義也
武田祥照 松木千俊
佐川勝貴 岡久広
武田宗典 武田友志

終演予定午後3時30分頃

定例公演 字幕

2月16日(金)午後6時30分開演

瘦松

シテ/山賊 三宅右近
アド/女 三宅近成

熊野

シテ/熊野 金剛永謹
ツレ/朝顔 金剛龍謙
ワキ/平宗盛 殿田英吉
ワキツレ/従者 藤田六郎兵衛

小鼓 幸正昭
大鼓 亀井広忠
後見 宇高通成
廣田幸稔
豊嶋幸洋
田村修 坂本立津朗
工藤寛 豊嶋晃嗣
元吉正巳 松野恭憲
山田伊純 宇高竜成

武田宗典 武田友志

終演予定午後8時45分頃

企画公演 字幕

2月28日(水)午後6時30分開演

近代絵画と能

水底の彼方から

浦島

シテ/浦島 野村又三郎
アド/孫 野村信朗
アド/亀の精 奥津健一郎

玉井

シテ/龍宮城 梅若玄祥
海龍王 梅若紀彰
豊玉姫 川口晃平
玉依姫 梅若幸三郎

板屋貝の精 藤波健太郎
蛤の精 奥津隆行
法螺貝の精 野口信太郎
小鼓 杉口信太郎
大鼓 大倉源次郎
大鼓 國川純
後見 梅若長左衛門

内藤幸雄 角当直隆
中森健之介 山崎正道
坂真太郎 観世喜正
佐久間二郎 鈴木啓吾

演出検討 村上 港

《月間特集・近代絵画と能》
近代の画家が能や古典文学に着想を得て描いた名作の数々。その絵画のイメージを逆に補助線として作品の魅力をお楽しみいただきます。

無布施経 お勤めを終えるといつも出るはずのお布施が今日に限って出ません。僧は檀家に何とか思い出させようとしてしまいがちです。

棒縛 酒好きの二人の出来。留守中に酒を飲まれぬよう、主人は二人の手を縄で縛って出かかれますが...

花筐 継体天皇より賜った花筐(花籠)を心のよすがに生きてきた照日の前は、想いがつり、物狂いとなって越前から大和へと上ります。古代王朝を描いた世阿弥の作品です。

瘦松 瘦松とは山賊言葉で収穫がないこと。山賊は追い剥ぎしようと女を捕えませんが、逆にすべてを奪われてしまい、村雨に散る桜に揺れる熊野の心。熊野 遊女熊野は平宗盛の寵愛ゆえ、病の母の元へ帰れません。花見の宴で散る桜を見て母を想い、熊野は歌を詠みます。満開の桜の情景と人間模様を繊細に描いた作品です。

近代絵画と能「水底の彼方から」
浦島 浦島という名の老人が、助けた亀からもらった玉手箱を開けると...。お伽斬「浦島太郎」とは異なる驚きの結末が待っています。